

☆支援員紹介☆

友利 沙代 先生

池城 千代子 先生

祖慶 奈津子 先生

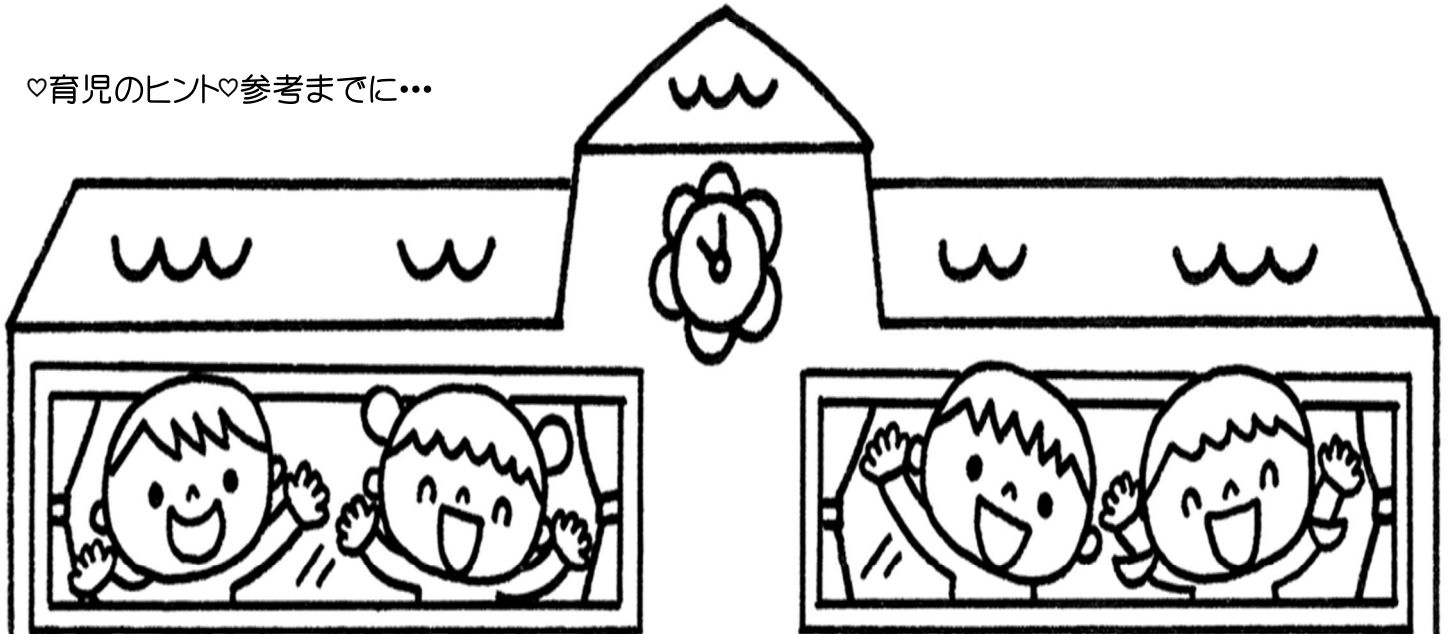
関 史香 先生

伊佐 章太郎 先生

頑張りますので宜しく

お願い致します！

♡育児のヒント♡参考までに…



♪やる気を伸ばす子育て♪

親は、子どもが小学生になると、持ってくるテストの結果が気になるものです。低い点数が続くと、担任から家庭学習をしっかり行ってくださいと言われることもあります。子どもは、高い点数が取れると親に見せてきますが、低い点数だと親に見せようとしません。低い点数だと親が悲しむもしくは、怒るといったことが分かっているからです。

ただ、そもそもテストの目的は高い点数を取るためのものではありません。学習の到達度を知るためのものです。もしも、テストがなければ、学校の授業のどこを理解し、どこがまだ理解不足なのかが分かりません。テストは子どもの成長につながる大切な材料になるのです。回答のできなかつた問題を知ること、どのような勉強をすればよいのか、対策を考えることができます。学習方法がまだ定着していない小学生低学年の時は、テストの結果を参考にして、親と一緒に足りていない部分のフォローをしてあげることが大切です。一緒に見てあげると、ミスしやすいところが徐々に見えてくるはず。覚えていない漢字や、間違いやすい計算、文章の理解力など、子どもの抱えている課題や傾向性などがつかめてきます。なかなか学力が伸びない親としてはとても焦りますが、感情的になって子どもに当たることは逆効果でしょう。勉強は感情が落ち着いているからこそできるもの。親に怒鳴られて怖い思いをすると、勉強机に向かったとしても集中できず、時間だけが過ぎてしまいます。怒鳴るのではなく、どうすればミスを防げるのか、その具体的な手立てを自分で考えさせることが大切です。計算問題の間違いは、自分の計算式の数字が汚いから起きているのかもしれませんが。文章題をよく間違える子は、問題文をいい加減に読んでいるのかもしれませんが。

ミスの原因を理解し、克服するための具体的なアドバイスは、子どもをよく知る親だからこそできることです。社会に出れば、ミスをしない人が活躍していきます。「あの人の話は正確だ。」「約束を守る人だ。」と評価される人は信頼され、重要な仕事を任せられ、仲間にも恵まれます。ミスをしない自分作るのは、生きていく上でとても大事な点なのです。そうした力を磨くことを家庭で行えると、子どもにとって大きな力になるでしょう。(資料:日刊新聞より)